第**7**講 【中世編】中世ヨーロッパの成立

PART5 東ヨーロッパ世界

Chapter 1　東ローマ（ビザンツ）帝国の盛衰

目標　ビザンツ帝国のユスティニアヌス大帝は，どの地域を征服したのだろうか。
ビザンツ帝国が滅亡した経緯を理解しよう。

1　ビザンツ帝国の最盛期

①ビザンツ帝国の成立

395 年　ローマ帝国が東西に分裂して**東ローマ帝国**が成立

首都は〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（現イスタンブル）

※首都の旧称ビザンティウムにちなみ，**ビザンツ帝国**と呼ばれる。

②宗教

A　コンスタンティノープルを頂点とする〔　　　　　　　　　　　　〕を国教とする

※ラテン語のローマ教会に対して，ギリシア語を典礼用語とするキリスト教。

B　皇帝が政治と宗教の両面を掌握

③ビザンツ帝国の最盛期

A　６世紀の〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の時代に，北アフリカの**ヴァンダル王国**，イタリアの**東ゴート王国**を滅ぼす

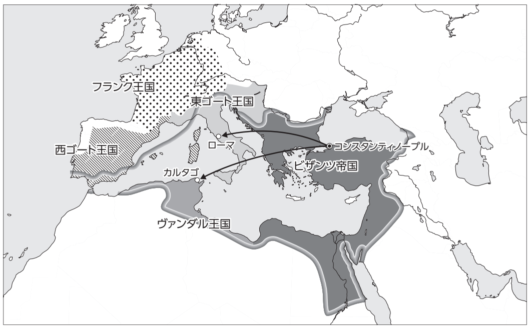
→**地中海帝国**の復活

B　ユスティニアヌス大帝の治世

あ　ササン朝最盛期の王**ホスロー１世**と対立

い　**トリボニアヌス**らに法典〔　　　　　　　　　　　　〕を編さんさせる

う　中国から養蚕技術を導入し，絹織物産業をおこす



ビザンツ帝国最盛期

2　ビザンツ帝国の衰退と滅亡

7 世紀　**ヘラクレイオス１世**が中央集権体制を強化

726 年　〔　　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　　〕を発布

※聖像崇拝の禁止と破壊を命じた法令で，ローマ＝カトリック教会との対立が深まる。

1054 年　教会が東西（東・ギリシア正教会，西・ローマ＝カトリック教会）に分裂

11 世紀後半　セルジューク朝に敗れ，小アジア（アナトリア）を奪われる

13 世紀初頭　**第４回十字軍**にコンスタンティノープルを占領され，以降，急速に衰退

1453 年　〔　　　　　　　　　　　　〕の**メフメト２世**に，コンスタンティノープルを攻略され滅亡

3　ビザンツ帝国の社会と文化

①地方統治

A　〔　　　　　〕制

異民族の侵攻に対処するため，帝国領をいくつかの**テマ**（軍管区）に分け，司令官に軍事と行政をゆだねる

→農民に兵役の義務と引き換えに農地を与える屯田兵制により，自作農が増加

B　〔　　　　　　　　　　　〕制

軍事奉仕と引き換えに，貴族に国有地の管理権**プロノイア**を与える

→世襲されるようになり，貴族の勢力が拡大。皇帝の権力が弱まる

②文化・建築

A　スラヴ人への布教のため，**キリル文字**を考案

B　ドームと**モザイク壁画**を特色とする**ビザンツ様式**建築が生まれる

※ユスティニアヌス大帝が再建した〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕や，**サン＝ヴィターレ聖堂**が代表的建築物。

C　キリストや聖母などを描いた〔　　　　　　　〕が制作される

まとめ

ユスティニアヌス大帝はヴァンダル王国と東ゴート王国を滅ぼし，ビザンツ帝国の最大領域を実現した。
オスマン帝国のメフメト２世が，首都コンスタンティノープルを陥落させ，ビザンツ帝国が滅亡した。

Chapter 2　スラヴ人の移動と東ヨーロッパ

目標
ポーランド王国がリトアニア大公国と連合した理由は何だろう。
モスクワ大公国が自立した経緯を学ぼう。

1　西スラヴ人の動向

①ポーランド人

960年頃　**ポーランド王国**を建国

14世紀　**カジミェシュ**（カシミール）**大王**のとき最盛期

1386年　〔　　　　　　　　　　〕に対抗するため，ポーランド女王が**リトアニア**大公ヤゲウォと結婚，〔　　　　　　　　　　〕**朝リトアニア＝ポーランド王国**が成立

※ポーランド最盛期の王朝, 国教に〔　　　　　　　　　　〕を採用。

②チェック人（チェコ人）

10世紀　〔　　　　　　　　　　〕（ボヘミア）王国を建国。※ローマ＝カトリックを受容。

11世紀　神聖ローマ帝国に編入

2　南スラヴ人の動向

①クロアティア人・スロヴェニア人

クロアティア人とスロヴェニア人がフランク王国の影響下でローマ＝カトリックを受容

②セルビア人

9世紀　ビザンツ帝国の支配下に入り，ギリシア正教を受容

12世紀　自立して**セルビア王国**を建国

14世紀　バルカン半島北部を支配するが，**オスマン帝国**に敗れて支配下に入る

3　東スラヴ人の動向

①ロシア人・ウクライナ人

9世紀　**ノルマン人**が東スラヴ人の住む地域に〔　　　　　　　　　　〕，ついで〔　　　　　　　　　　〕を建国

10世紀末　キエフ大公〔　　　　　　　　　　〕が領土を拡大。ビザンツ

帝国の皇女との結婚を機にギリシア正教（**ロシア正教**）を国教とする

11 世紀　貴族による大土地所有と農民の農奴化が進展

1243 年　**モンゴル軍**に制圧され〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の支配下に

→「**タタールのくびき**」による統治

15 世紀後半　**モスクワ大公**〔　　　　　　　　　　　〕がロシアの諸侯国を併合

※ビザンツ最後の皇帝の姪との結婚により，ローマ皇帝の後継者を自任。

〔　　　　　　　　〕（皇帝）の称号を用いる。

1480 年　モスクワ大公国がモンゴルの支配から独立。ロシア帝国の基礎ができる

②スラヴ人への布教

ギリシア正教の宣教師**キュリロス**がスラヴ人への布教のため，**グラゴール文字**を考案

→のちに〔　　　　　　　　　〕（ロシア文字の原型）に発展

4　東欧の非スラヴ系の諸民族

①ルーマニア人

ダキアのラテン人を起源とする

９世紀　ギリシャ正教を受容

14 世紀　ワラキア公国，ついでモルダヴィア公国を建国

②マジャール人

10 世紀末　**パンノニア**平原に〔　　　　　　　　　　　　　〕を建国

※ローマ＝カトリックを受容。

16 世紀　オスマン帝国の支配下に入る

③ブルガール人

７世紀　ドナウ川南岸に〔　　　　　　　　　　　　　〕を建国

※ギリシア正教に改宗後，ビザンツ帝国に併合される。

まとめ

ポーランド王国はドイツ騎士団に対抗するためにリトアニアと連合し，ヤゲウォ朝が成立した。

モスクワ大公国のイヴァン３世は，モンゴル人の支配から自立し，ロシア帝国の基礎をつくった。

第７講 PART5 確認問題

1 ４世紀末に成立したビザンツ帝国の首都はどこか。

① アレクサンドリア　② コンスタンティノープル
③ イェルサレム　④ アドリアノープル

2 地中海帝国を復活させ,『ローマ法大全』を編さんさせたビザンツ帝国の皇帝はだれか。

① ユスティニアヌス大帝　② コンスタンティヌス帝
③ ヘラクレイオス１世　④ トリボニアヌス

3 ローマ教会との対立を深めた，レオン３世が発布した法令を何というか。

① ミラノ勅令　② 奢侈禁止令
③ 宗教寛容令　④ 聖像禁止令

4 ビザンツ帝国を滅ぼしたのはどこか。

① フランク王国　② オスマン帝国
③ セルジューク朝　④ 神聖ローマ帝国

5 ビザンツ様式建築を代表する建物を何というか。

① ピサ大聖堂　② ノートルダム大聖堂
③ ハギア＝ソフィア大聖堂　④ ケルン大聖堂

6 リトアニアと同盟してできた，ポーランドの最盛期の王朝を何というか。

① ヴァロワ朝　② ヤゲウォ朝
③ カペー朝　④ ロマノフ朝

7 ロシアにおける皇帝の称号「ツァーリ」を最初に用いた人物はだれか。

① イヴァン３世　② ウラディミル１世
③ イヴァン４世　④ カジミェシュ大王

8 10世紀末にマジャール人が，パンノニア平原に建国した国はどこか。

① ブルガリア王国　② ノヴゴロド国
③ ハンガリー王国　④ セルビア王国

第7講　PART5　確認問題　解答

1 解答：②　アジアとヨーロッパ，黒海と地中海を結ぶ接点にある**コンスタンティノープル**は，国際貿易都市として繁栄した。

2 解答：①　**ユスティニアヌス大帝**は，ヴァンダル王国と東ゴート王国を滅ぼし，西ゴート王国からイベリア半島南部を奪って，地中海帝国を復活させた。

3 解答：④　**聖像禁止令**は，聖像をゲルマン人への布教に利用していたローマ＝カトリック教会との対立を深めた。

4 解答：②　**オスマン帝国**は13世紀末，アナトリア西部に建国されたイスラーム帝国で，バルカン半島制圧後，1453年にコンスタンティノープルを攻略し，ビザンツ帝国を滅ぼした。

5 解答：③　**ハギア＝ソフィア大聖堂**は，ユスティニアヌス大帝によってビザンツ様式で建てられた。

6 解答：②　**ヤゲウォ朝**は，1386年にポーランド女王とリトアニア大公ヤゲウォが結婚して開かれた王朝で，1410年にはタンネンベルクの戦いでドイツ騎士団を破った。

7 解答：①　モスクワ大公**イヴァン3世**が初めて名乗り，16世紀のイヴァン4世のときに公式な称号となった。

8 解答：③　マジャール人は，**ハンガリー王国**を建国した。